2026年11月13日

各　位

会社名　　ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長 CEO 兼グループ CEO　小野 有理
（コード番号 6699　東証スタンダード市場）
問合せ先　　専務執行役員 CFO　徳原 英真
（TEL　06-6302-8211）

（訂正）「2027年３月期第２四半期（中間期）決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

2026年11月13日に公表いたしました「2027年３月期第２四半期（中間期）決算説明資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．訂正の理由

「2027年３月期第２四半期（中間期）決算説明資料」の1ページ「2027年3月期　第2四半期　決算概要（P/L)」、4ページ「2027年3月期　第2四半期　決算概要（B/S）」、6ページ「設備投資額・研究開発費」及び7ページ「地域別決算概要」に記載している図表において、一部誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

２．訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には赤枠を付して表示しております。

以　上

決算説明資料

目次

Ⅰ．2027年3月期　第2四半期決算

2027年3月期　第2四半期　決算概要（P/L）　・・・　01

営業利益増減要因分析　・・・　02

セグメント別四半期業績推移　・・・　03

2027年3月期　第2四半期　決算概要（B/S）　・・・　04

連結CFの状況　・・・　05

設備投資額・研究開発費　・・・　06

地域別決算概要　・・・　07

Ⅱ．2027年3月期　第2四半期実績

2027年3月期　第2四半期実績
（期初予想vs第2四半期実績）　・・・　08

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社

東証スタンダード市場　6699

2026年11月

© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

2027年3月期　第2四半期　決算概要（P/L）

- 自動車機器事業:　売上高はインド、北米ならびに欧州での内燃機関搭載車増産影響並びに為替影響により増収、レアアース輸出規制の影響あるも増益
- エネルギーソリューション事業:　新モデル（恵比寿八）をデビューさせるも、サイバーセキュリティー新規格（JC-STAR★）の取得遅れ、円安、メモリー半導体高騰、旧モデル（EIBS7)キャンペーン等の影響により減収減益
- 電子機器事業:　国内の省エネ基準改定に伴う空調機器の駆け込み需要を取り込み増収増益
- その他のトピック:　当期は為替差損5.9億円（前期は為替差益1.6億円）
  金融コスト高騰による支払利息5.6億円（前期は5.1億円）
  投資有価証券売却益1.4億円（前期は無し）
  法人税等4.0億円（前期は6.2億円）

（百万円）	2026年3月期　第2四半期		2027年3月期　第2四半期			
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	**46,628**	**100.0%**	**50,578**	**100.0%**	**+3,950**	**+8.5%**
自動車機器	19,279	41.3%	22,765	45.0%	+3,485	+18.1%
エネルギーソリューション	11,995	25.7%	9,328	18.4%	▲2,666	▲22.2%
電子機器	14,825	31.8%	17,941	35.5%	+3,116	+21.0%
その他事業	528	1.1%	542	1.1%	+14	+2.7%
営業利益	**1,388**	**3.0%**	**1,088**	**2.2%**	**▲300**	**▲21.6%**
自動車機器	566	1.2%	948	1.9%	+381	+67.3%
エネルギーソリューション	1,313	2.8%	243	0.5%	▲1,070	▲81.5%
電子機器	627	1.3%	1,003	2.0%	+375	+59.8%
その他事業	▲58	▲0.1%	36	0.1%	+94	-
共通	▲1,061	▲2.3%	▲1,142	▲2.3%	▲81	-
経常利益	**1,146**	**2.5%**	**146**	**0.3%**	**▲999**	**▲87.2%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**425**	**0.9%**	**▲167**	**▲0.3%**	**▲593**	**-**
ＲＯＥ	3.7%		▲1.2%		▲4.9pt	
営業利益率	3.0%		2.2%		▲0.8pt	

※1USD=146.03円　※1USD=159.49円

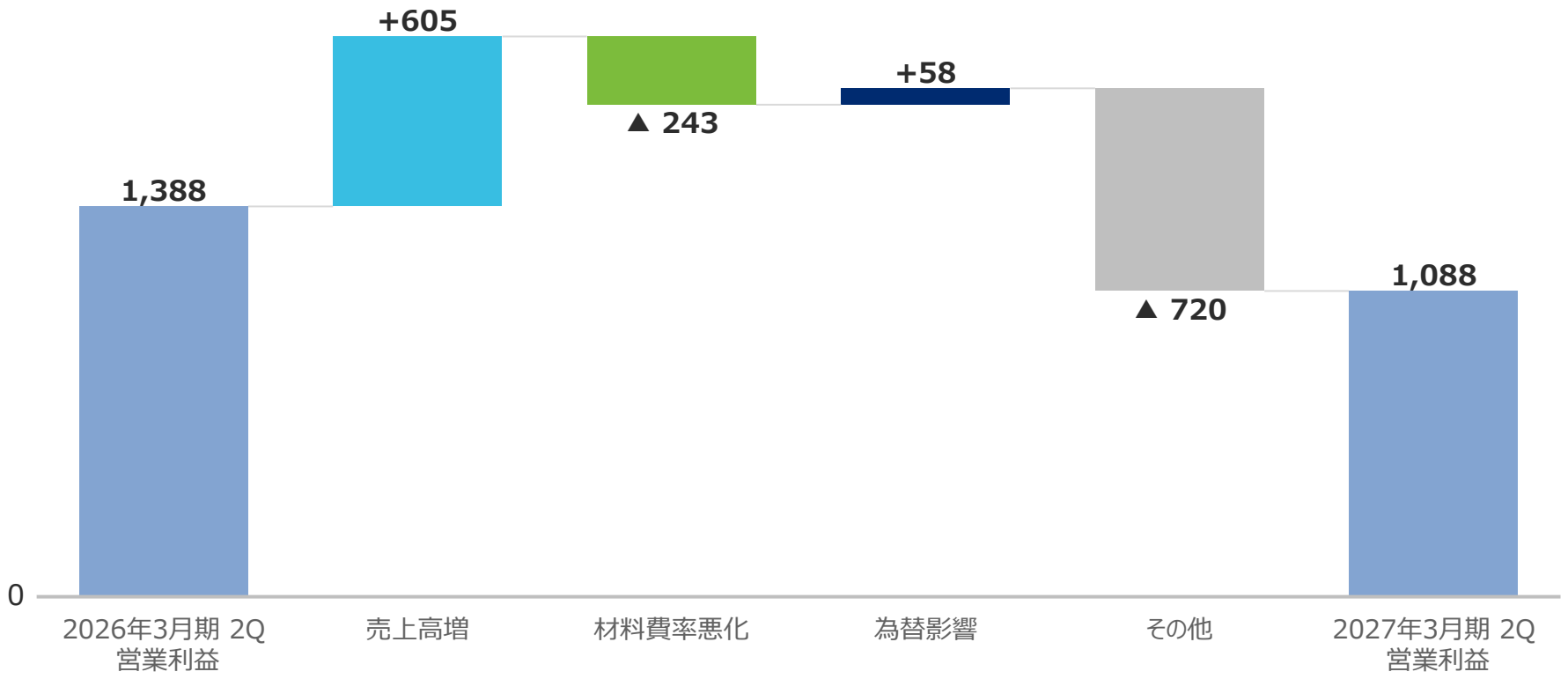
© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

営業利益増減要因分析

- 売上高増は主に自動車機器事業及び電子機器事業におけるお客様需要増の影響
- 材料費率悪化は主にエネルギーソリューション事業での円安、メモリー半導体高騰、旧モデルのキャンペーン等の影響
- その他は主に自動車機器事業での生産増による原価増

営業利益増減要因

（単位：百万円）

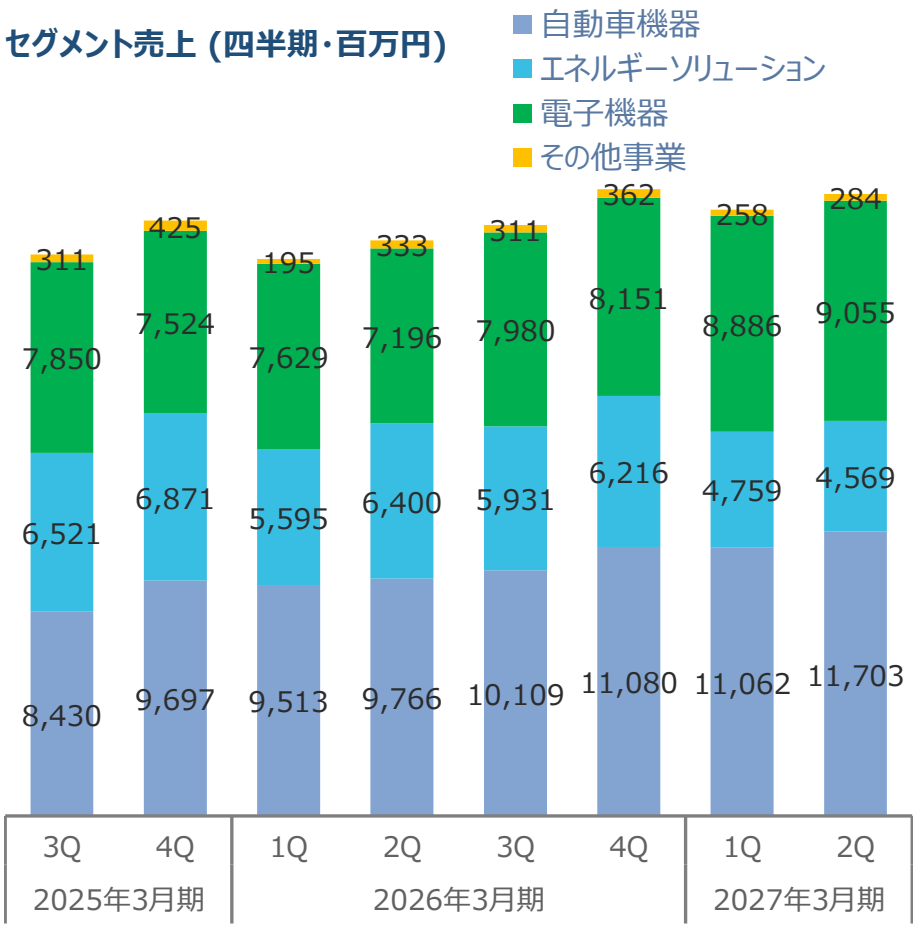


© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

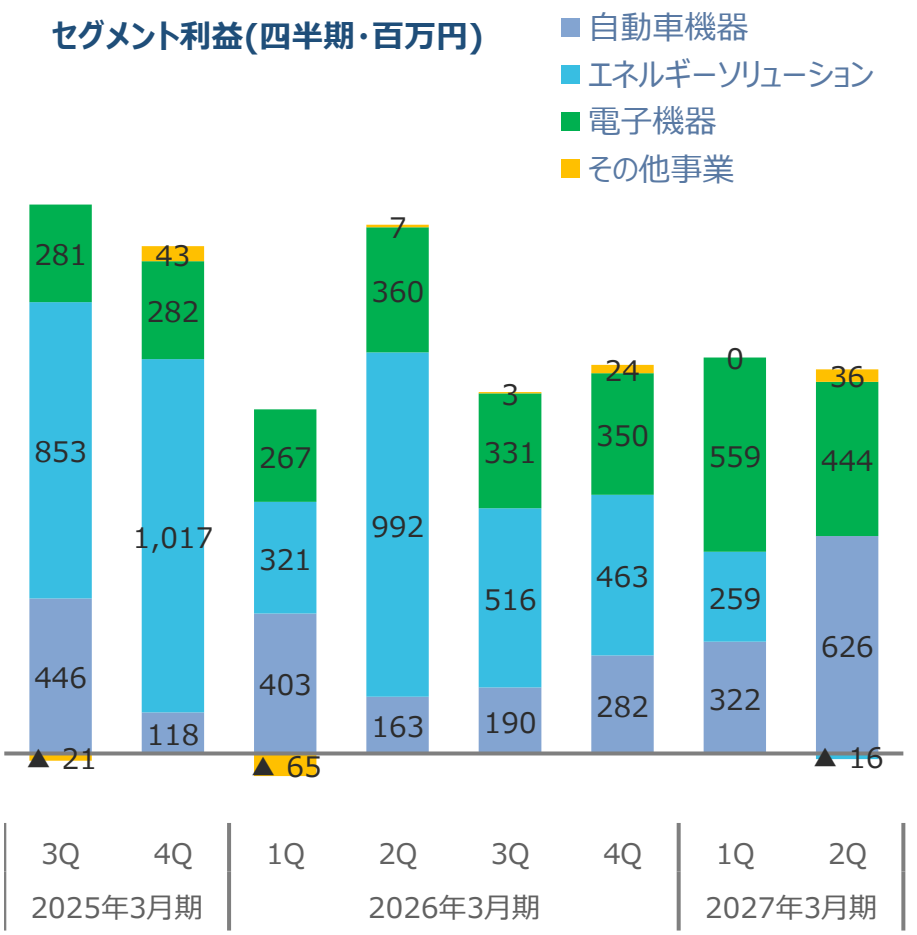
セグメント別四半期業績推移

- 自動車機器事業:　需要増により売上高、利益は増加傾向、当2Qはレアアース輸出規制対応費用回収により利益増加
- エネルギーソリューション事業:当期はサイバーセキュリティー新規格（JC-STAR★）の取得遅れにより売上高、利益は大幅に減少
- 電子機器事業:　当期は国内の省エネ基準改定に伴う空調機器の駆け込み需要を取り込み増収増益

セグメント売上 (四半期･百万円)



セグメント利益(四半期･百万円)



© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

2027年3月期　第2四半期　決算概要（B/S）

- 棚卸資産は10.4億円増加のうち、為替変動の影響を受け2.3億円減少、主にエネルギーソリューション事業、恵比寿八のJC-STAR★取得遅れによる影響、自動車機器事業でレアアース問題、米国の売上増加影響により12.7億円増加
- 有利子負債は運転資本増加への対応により増加
- 純資産は新株予約権の行使により増加

（百万円）	前期 2026年3月期　第4四半期 実績	当期 2027年3月期　第2四半期 実績	前期末比 増減額
流動資産	55,260	56,283	+1,022
現預金	6,472	7,271	+799
受取手形・売掛金	14,375	14,069	▲306
棚卸資産*	28,045	29,093	+1,047
固定資産	28,683	29,083	+399
有形固定資産	17,934	18,216	+282
総資産	**83,943**	**85,366**	**+1,422**
支払手形・買掛金	11,173	10,283	▲889
電子記録債務	3,425	3,682	+257
有利子負債**	39,381	40,025	+644
負債	**69,775**	**70,511**	**+735**
自己資本	13,982	14,659	+676
自己資本比率	16.7%	17.2%	+0.5pt
純資産	**14,168**	**14,855**	**+687**
	※1 USD＝159.9円	※1 USD＝157.31円	

*棚卸資産＝商品及び製品+仕掛品+原材料及び貯蔵品

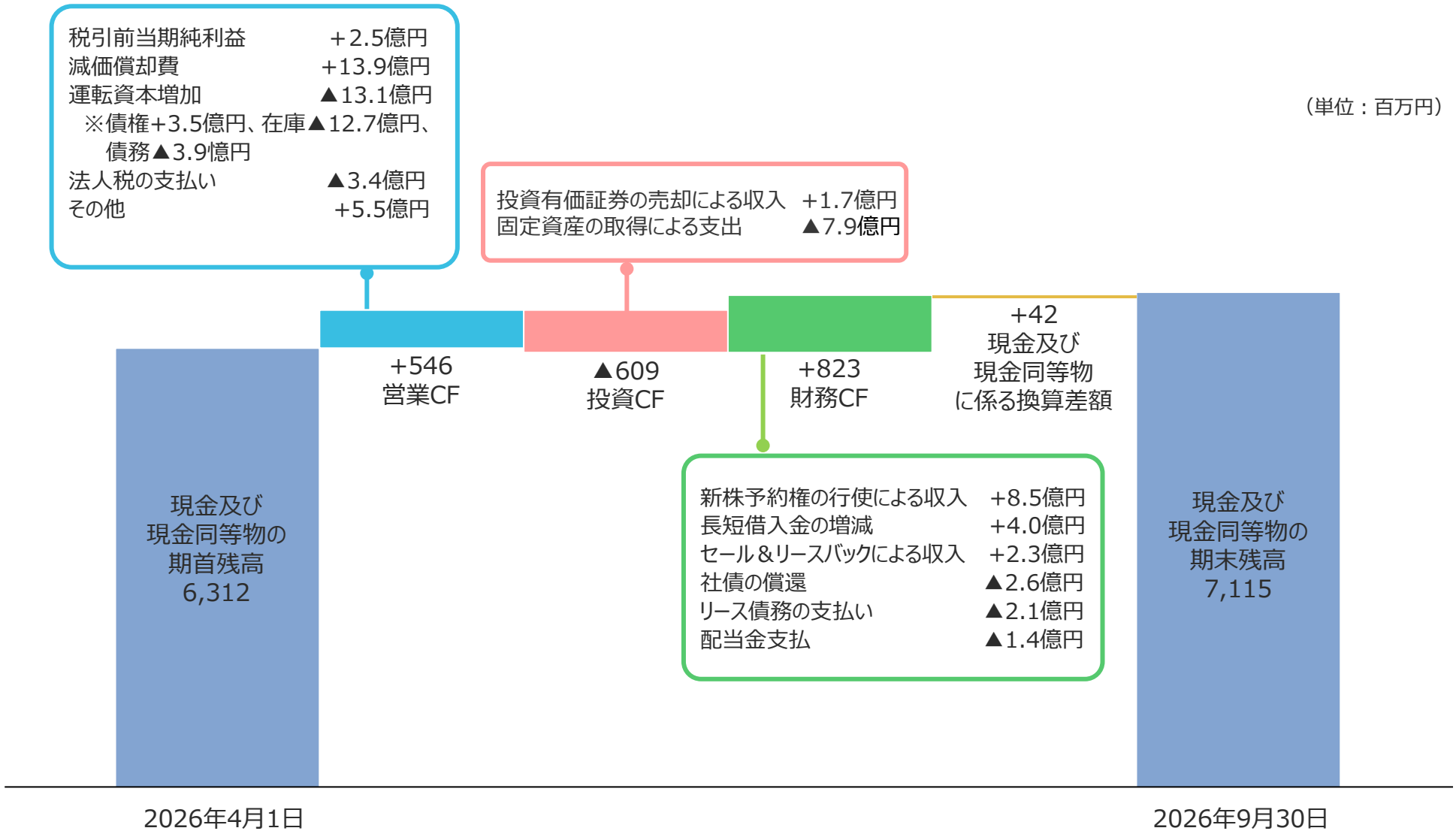
**有利子負債=短期借入金+1年以内償還社債+1年以内返済長期借入金+社債+長期借入金+リース債務

© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

連結CFの状況

- フリーキャッシュフローは、2026年度3月期の▲26.4億円から▲0.6億円に良化（+25.8億円）

（単位：百万円）



© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

設備投資額・研究開発費

■ 設備投資は主に自動車機器事業での米国のお客様向け、国内生産支援のための生産設備

(百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期　第2四半期		
	実績	実績	増減額	増減率(%)
設備投資	**722**	**1,420**	**+698**	**+96.7%**
自動車機器	343	1,000	+657	+191.5%
エネルギーソリューション	142	107	▲35	▲24.6%
電子機器	61	213	+152	+249.2%
その他事業	15	36	+21	+140.0%
共通	159	62	▲97	▲61.0%
研究開発費	**1,624**	**1,751**	**+127**	**+7.8%**
自動車機器	562	594	+32	+5.7%
エネルギーソリューション	867	957	+90	+10.4%
電子機器	185	194	+9	+4.9%
その他事業	-	-	-	-
共通	9	4	▲5	▲55.6%
減価償却費	**1,457**	**1,392**	**▲65**	**▲4.5%**
自動車機器	991	922	▲69	▲7.0%
エネルギーソリューション	99	129	+30	+30.3%
電子機器	271	241	▲30	▲11.1%
その他事業	39	43	+4	+10.3%
共通	55	55	+0	+0.0%

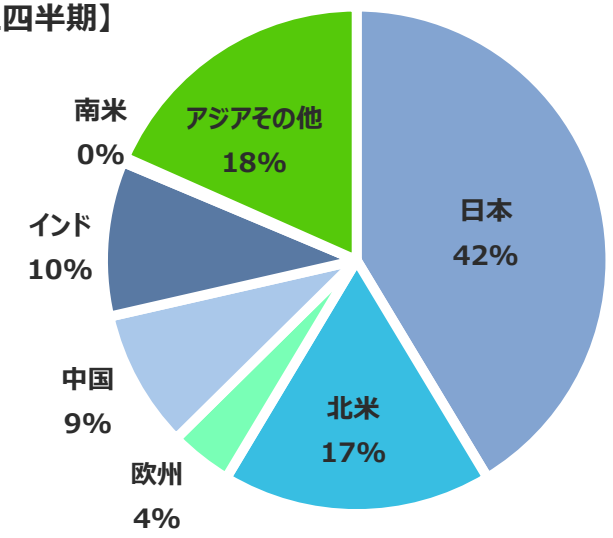
© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

地域別決算概要

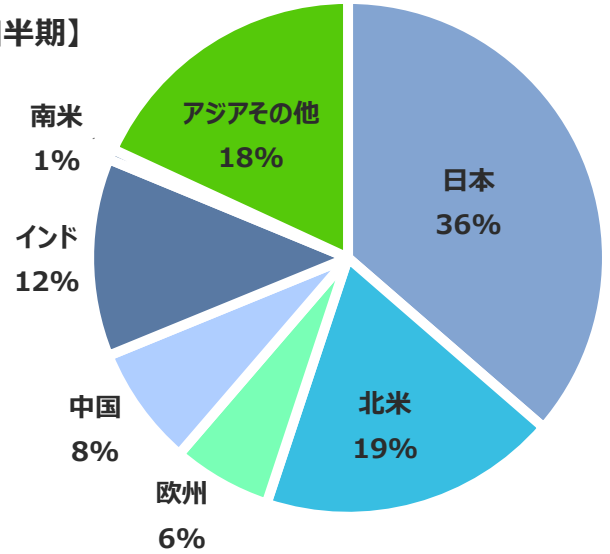
- 日本は空調機器の駆け込み需要の影響により電子機器事業の販売増、エネルギーソリューション事業での販売減
- 北米は電動車の需要減速による内燃機関搭載車の増産影響で自動車機器事業の販売増
- 欧州は内燃機関搭載車の増産影響で自動車機器事業の販売増、空調機器の需要増加による電子機器の販売増
- インドは自動車機器事業の需要増加による販売増、空調機器の需要増加による電子機器の販売増

地域別売上高（%）

【2026年3月期 第2四半期】



【2027年3月期 第2四半期】



地域別実績

（百万円）	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期		
	実績	実績	実績	実績	増減額	増減率
日本	19,888	18,397	19,293	18,396	▲897	▲4.6%
北米	6,660	6,401	8,027	9,471	+1,444	+18.0%
南米	0	268	146	334	+188	+128.8%
欧州	4,669	2,559	1,869	3,139	+1,270	+68.0%
中国	3,584	3,503	4,117	3,801	▲316	▲7.7%
インド	3,393	4,545	4,614	6,274	+1,660	+36.0%
アジアその他	6,781	8,419	8,558	9,160	+602	+7.0%

© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.

2027年3月期　第2四半期実績（期初予想vs第2四半期実績）

- 自動車機器事業:　売上高は主に為替影響及び米国、中国での内燃機関搭載車増産影響により増収、追加関税の影響あるも増益
- エネルギーソリューション事業：売上高はサイバーセキュリティー新規格（JC-STAR★）の取得遅れの影響により減収減益
- 電子機器事業:　売上高は国内の省エネ基準改定に伴う空調機器の駆け込み需要で増収、セールスミックス悪化の影響を受けるも原価低減活動等により増益
- その他のトピック:　当期純利益は、営業利益増益の影響及び投資有価証券売却益の計上で増益

(百万円)	2027年3月期 期初予想		2027年3月期 実績			
	第2四半期	構成比(%)	第2四半期	構成比(%)	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率(%)
売上高	**48,100**	**100.0%**	**50,578**	**100.0%**	**+2,478**	**+5.2%**
自動車機器	21,150	44.0%	22,765	45.0%	+1,615	+7.6%
エネルギーソリューション	10,000	20.8%	9,328	18.4%	▲671	▲6.7%
電子機器	16,430	34.2%	17,941	35.5%	+1,511	+9.2%
その他事業	520	1.1%	542	1.1%	+22	+4.4%
営業利益	**600**	**1.2%**	**1,088**	**2.2%**	**+488**	**+81.4%**
自動車機器	600	1.2%	948	1.9%	+348	+58.0%
エネルギーソリューション	400	0.8%	243	0.5%	▲156	▲39.2%
電子機器	760	1.6%	1,003	2.0%	+243	+32.0%
その他事業	30	0.1%	36	0.1%	+6	+21.9%
共通	▲1,190	▲2.5%	▲1,142	▲2.3%	+47	-
経常利益	**▲170**	**▲0.4%**	**146**	**0.3%**	**+317**	**-**
当期純利益	**▲420**	**▲0.9%**	**▲167**	**▲0.3%**	**+252**	**-**
ROE	▲ 2.9%		▲1.2%		+1.7pt	
営業利益率	1.2%		2.2%		+1.0pt	
設備投資	2,130		1,420		▲709	▲33.3%
研究開発費	2,045		1,751		▲293	▲14.4%
減価償却費	1,520		1,392		▲127	▲8.4%

※1 USD＝148円　　※1 USD＝159.49円

© 2026 DIAMOND ELECTRIC HOLDINGS Co., Ltd.